

給湯器の凍結予防

この時期に多発！「凍結による給湯器の破裂」

※給湯器の凍結・破裂は「ご入居者様の責任」になってしまう場合があります！

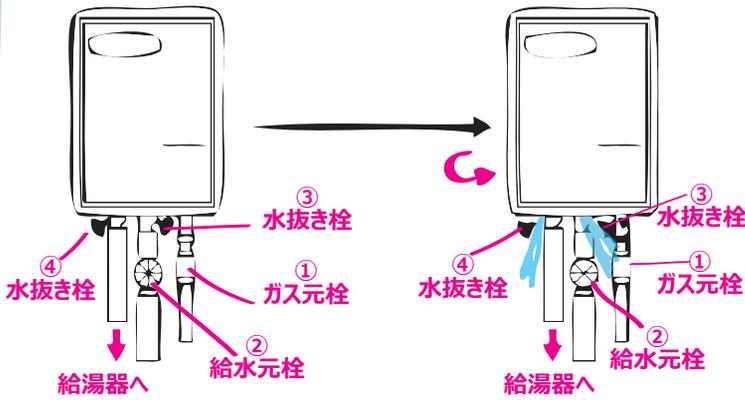
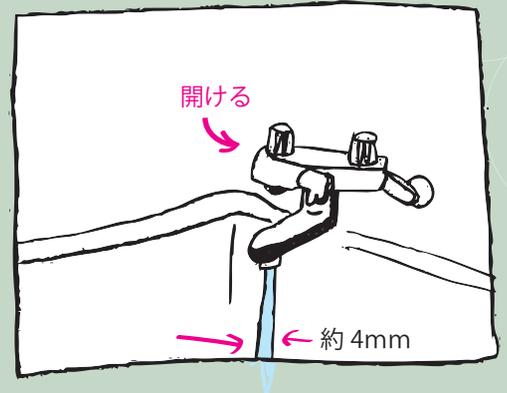
凍結を予防するには **常時**

ブレーカーを落とさない
給湯器の電源プラグを抜かない

予想最低気温が -4°C 以下になる夜・睡眠をとる前
出張や長い期間家を留守にするときなどは…

通水による予防

運転スイッチを切り
水を細く出しばなしにする



※給湯器の種類により、各称の位置が異なることがあります。

給湯器の水抜きによる予防

- 1 運転スイッチは「切」にします。この場合電源プラグは抜かないで下さい。
- 2 ガスの元栓①と給水元栓②を閉めます。
- 3 キッチン・浴室・洗面台などの蛇口を全開にします。
- 4 水抜き栓③④を回し、水抜き栓を完全に外し、水を抜きます。
- 5 最後に電源プラグを抜いて下さい。
- 6 再度使用するときには、水抜き栓③④と室内全ての給湯の蛇口を閉め、給水元栓②を全開にしてすべての蛇口から水が出るのを確認し、ガスの元栓①を開け使用します。

凍結を解消するには

気温上昇により自然解凍するまで待つのが得策！
すぐにお湯を使いたい場合は、下記の方法のお試しを

- ① 給湯器の給水バルブ（元栓）の周りにタオルを巻く。
- ② 40°C くらいのお湯を、巻いたタオルにゆっくりとかける。

※熱湯厳禁

- ③ 給水バルブ（元栓）が回るようになったか確認。
- ④ 蛇口を開き、給湯器が作動するか確認。
- ⑤ お湯が出たら巻いたタオルを外し、配管まわりの水を拭き取る。

